

株式会社シンワバネスの株式取得について

2023年12月25日
リケンNPRグループ°

本件取引概要

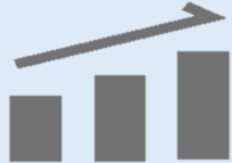


2023年12月25日開示のプレスリリースの通り、当社は子会社である(株)リケンを通じ、(株)シンワバネスの株式90%を投資ファンドであるエンデバー・ユナイテッド(株)が運営するファンドから取得することを決議しました

| | |
|---------------|---|
| 株式を取得する対象会社 | 株式会社シンワバネス |
| 本件取引の概要 | 90%持分に相当する対象会社株式をエンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合より取得 |
| 本件取引成立後想定株主構成 | <ul style="list-style-type: none">■ 株式会社リケン : 90.0%■ その他個人株主 : 10.0% |
| 戦略的意義 | <ul style="list-style-type: none">■ 非ICE領域であるネクストコア事業の拡大・強化■ 相互補完性のある製品ラインナップを背景とした事業ポートフォリオの拡充■ 両社の技術開発力と営業力の強化■ 熱エンジニアリング事業へ経営資源を振り向け、カーボンニュートラルへの取り組み強化 |
| 想定スケジュール | <ul style="list-style-type: none">■ 株式譲渡実行日は2024年2月中旬を予定■ 当社2024年3月期の連結業績に与える影響は現在精査中 |

中期経営方針（2024-2026）において掲げる通り、非ICE領域であるネクストコア事業の拡大・強化による事業ポートフォリオ改革を推進。また、カーボンニュートラルへの取り組み強化も推進

事業ポートフォリオ改革



ネクストコア事業
への積極投資と事業拡大

成長分野にある既存事業・
新製品事業

- **ネクストコア事業と新製品事業**に経営資源を振り向け、**中長期的に売上・利益の拡大**を目指す
- ピストンリング事業・ベース事業については、リケンNPRとしての事業統合効果により安定した収益源拡大を図る

サステナビリティ経営の強化

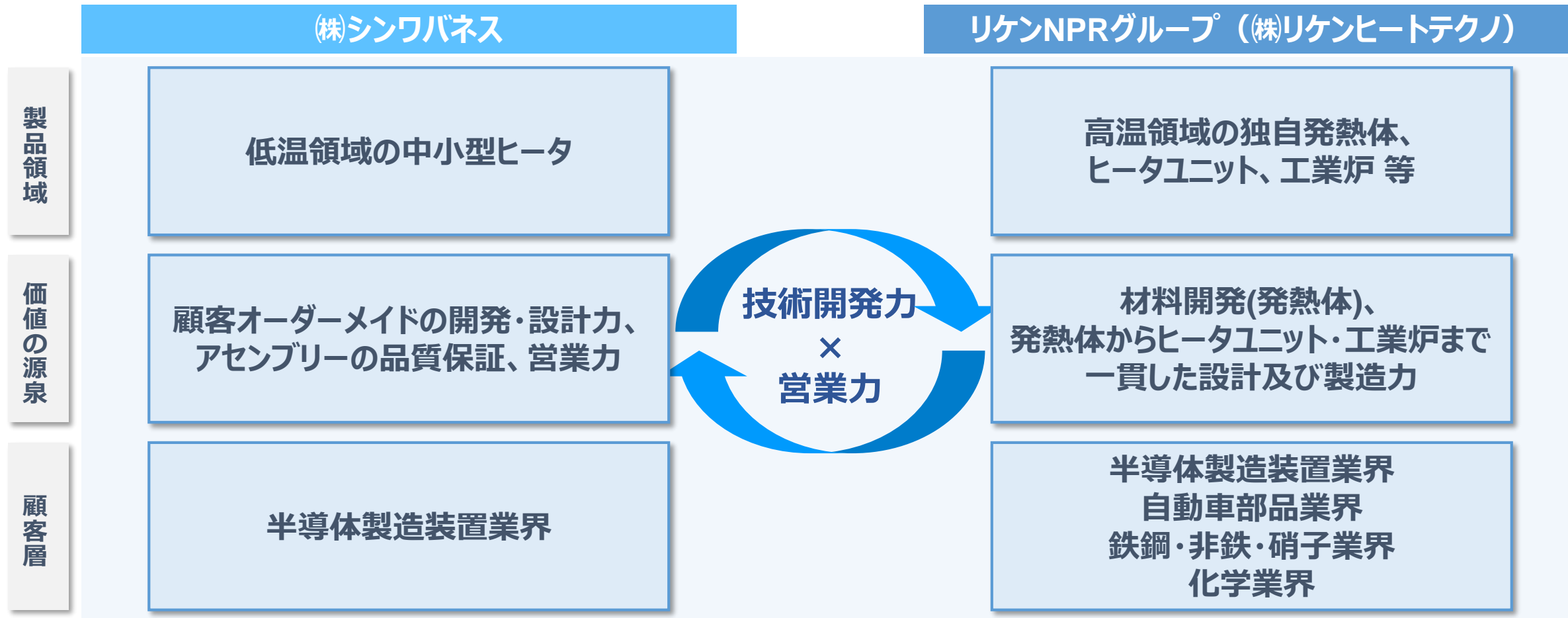
**カーボンニュートラルへの
取り組み強化**

カーボンニュートラルの潮流により、各種産業の加熱工程について、化石燃料による燃焼加熱から、発熱体による電気抵抗加熱へ置換する大きな変化が起きている

本件により、事業ポートフォリオ改革実現のための重要な取り組みとして、ネクストコア事業の一つと位置付ける熱エンジニアリング事業の拡大を企図

リケンNRPグループとのシナジー

- 両社がそれぞれに保有する技術開発力と営業力を持ち寄り、魅力ある新製品を共同開発し事業領域を拡大
- デジタル化の進展で大きな成長可能性がある半導体市場をリードし、カーボンニュートラルへの対応へとつなげていく



(株)シンワバネスの概要



- (株)シンワバネスは、半導体製造装置用のヒータ部品の設計・開発・製造を手掛けるファブレスメーカー
- グローバル半導体製造装置市場において上位シェアを有する大手メーカーに低温領域の中小型ヒータを販売

| | | | | |
|-----------|---|----------|----------|----------|
| 名称 | 株式会社シンワバネス | | | |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 新井 昇 | | | |
| 事業内容 | 半導体・FPD・太陽電池製造に関連する工業用ヒータ等加熱機器及び部品の設計、開発、製造 | | | |
| 資本金 | 30百万円 | | | |
| 設立年月日 | 1978年10月18日 | | | |
| 連結業績 | 決算期 | 2021年8月期 | 2022年8月期 | 2023年8月期 |
| | 売上高 | 6,321百万円 | 7,787百万円 | 6,783百万円 |
| | 営業利益 | 687百万円 | 1,114百万円 | 943百万円 |

(株)シンワバネスは半導体製造装置メーカー向けのヒータ製品にて、幅広い製品ラインナップを保有



マイカヒータ

大型パネル、高温、均一な温度分布の実現に最適なヒータ



カートリッジヒータ

高熱伝導性・高絶縁性に優れた無機絶縁のヒータ



ジャケットヒータ

様々な形に加工できる自由度が高い繊維状のヒータ



クリーンリボンヒータ

被覆材にフッ素樹脂繊維を用いたクリーン度が高い带状のヒータ



シリコンラバーヒータ

シリコンゴムシートの柔軟性のある薄形の面状ヒータ



ケーブルヒータ

被加熱物に対して面接触で熱効率を向上させたヒータ



熱電対/測温抵抗体

温度計測のあらゆる分野で最も多く使用されている温度センサー



断熱材

複雑な形状製作が可能な、応用度の高い断熱材

基本情報

| | |
|-----------|-------------------------|
| 名称 | 株式会社リケンヒートテクノ |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 大橋 聡 |
| 資本金 | 30百万円 |
| 設立年月日 | 2018年7月2日 |
| 従業員数 | 61名 (2023年10月1日時点) |
| 取扱製品 | 発熱体、発熱体応用製品、ヒータユニット、工業炉 |
| マネジメント認証 | ISO9001、ISO14001 |

主な製品概要

発熱体



PYROMAX®

従来の発熱体と比較し、高い耐久性を有する独自の金属発熱体



PYROMAX® - PMD

耐高温変形性を大幅に改善した粉末冶金法による金属発熱体



PYROMAX SUPER®

空気中での最高発熱体温度1800℃を実現するセラミックス発熱体

ヒータユニット



ヒータユニット

独自発熱体の特性を最大限に発揮する各種のヒータユニット



ラジアントチューブヒータ

浸炭性ガス雰囲気など特殊な雰囲気での熱処理に最適。

工業炉



PYRORIK®

省エネ性に極めて優れた工業炉。実験装置から量産装置まで対応。